

当院の心臓血管外科で僧帽弁形成術を受けられた患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

対象となる方

2018年4月以降に、僧帽弁形成術を受けた方

研究課題名

経食道心臓超音波検査を用いた僧帽弁形成術における最適リングサイズ予測の検討

研究責任者

国立循環器病研究センター 麻酔科 部長 大西 佳彦

研究の目的

僧帽弁形成術において、リングサイズ予測をより高精度で行うようにするため

利用する診療情報

全身麻酔導入から麻酔終了時点までの超音波画像記録、術中バイタルサイン、術中における全身麻酔薬、カテコラミン、血管拡張薬の使用量、術前、術後の血液検査項目、放射線超音波画像記録、カテーテル検査記録、現病歴、既往歴。

研究期間

研究許可日より2023年3月31日まで（予定）

個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

問合せ先

国立循環器病研究センター 麻酔科

担当医師 矢作 武蔵

電話 06-6170-1070(代表)

(内線 60258)